

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2020年8月12日

【四半期会計期間】 第45期第2四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社サンセイランディック

【英訳名】 Sansei Landic Co.,Ltd

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 松崎隆司

【本店の所在の場所】 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

【電話番号】 03-5252-7511(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 永田武司

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区丸の内二丁目5番1号

【電話番号】 03-5252-7511(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役管理本部長 永田武司

【縦覧に供する場所】 株式会社サンセイランディック 名古屋支店
(愛知県名古屋市中区丸の内三丁目20番17号)

株式会社サンセイランディック 関西支店
(大阪府大阪市中央区平野町三丁目6番1号)

株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第44期 第2四半期 連結累計期間	第45期 第2四半期 連結累計期間	第44期
会計期間	自 2019年1月1日 至 2019年6月30日	自 2020年1月1日 至 2020年6月30日	自 2019年1月1日 至 2019年12月31日
売上高 (千円)	7,701,292	8,354,494	18,020,279
経常利益 (千円)	750,516	291,644	1,758,660
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円)	473,423	182,354	1,158,579
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	473,423	182,354	1,158,579
純資産額 (千円)	9,203,730	9,891,368	9,894,946
総資産額 (千円)	16,802,110	21,962,193	19,293,753
1株当たり四半期(当期)純利益 金額 (円)	56.04	21.58	137.08
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)	55.94	21.52	136.60
自己資本比率 (%)	54.8	45.0	51.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	286,517	3,683,992	419,952
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	27,906	9,309	70,915
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	446,302	3,021,919	984,130
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,704,697	3,287,303	3,958,686

回次	第44期 第2四半期 連結会計期間	第45期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	69.29	13.63

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について、新たに以下の追加すべき事項が生じております。なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(新型コロナウイルス感染症等の感染拡大に伴うリスク)

新型コロナウイルス感染症等の感染拡大により、不動産販売事業において不動産売上の遅延及び取引の見合わせ、建築事業において建築工事の遅延、商談の遅延及び工事契約の見合わせ等が発生し、当社グループの経営成績及び財政状態に影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。
財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間の経営成績は、売上高8,354百万円(前年同期比8.5%増)となり、営業利益395百万円(前年同期比50.0%減)、経常利益291百万円(前年同期比61.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益182百万円(前年同期比61.5%減)となりました。

セグメント別の概況は次のとおりであります。

不動産販売事業

不動産販売事業の売上高は7,431百万円(前年同期比6.6%増)となり、セグメント利益は953百万円(前年同期比29.9%減)となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び仕入実績は次のとおりであります。

販売実績

区分	件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
底地	129	25.0	2,332	11.4
居抜き	37	+42.3	3,077	23.2
所有権	8	+166.7	1,770	-
その他の不動産販売事業	-	-	250	+16.8
合計	174	13.4	7,431	+6.6

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間取引については相殺消去しております。
3. 「件数」については、売買契約の件数を記載しております。
4. 底地・居抜き・所有権の「区分」については、仕入時の区分により記載しております。仕入後に権利調整により底地から所有権に変わった区画等に関しては、仕入時の区分に基づき底地に含めて記載しております。また、底地・居抜き・所有権が混在する物件については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。
5. 「その他の不動産販売事業」は、地代家賃収入、仲介手数料による収入、業務受託手数料収入等があります。

販売におきましては、底地及び居抜きの販売は減少いたしました。所有権の販売が大幅に増加したことにより売上高は前年同期比で増加いたしました。

計画比では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による、不動産売上の遅延及び取引の見合わせによる販売の期ずれが発生したことにより、売上高は計画を下回りました。

仕入実績

区分	区画数	前年同期比(%)	仕入高(百万円)	前年同期比(%)
底地	192	4.0	3,183	+84.8
居抜き	27	41.3	4,416	+61.2
所有権	8	+14.3	1,450	+71.9
合計	227	10.3	9,051	+70.5

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
2. 「区画数」については、底地の場合は借地権者の人数など、物件の仕入時に想定される販売区画の数量を記載しております。
3. 底地・居抜き・所有権が混在する物件の「区分」については、底地を含む物件は「底地」に、居抜きと所有権のみが混在する物件は「居抜き」に含めて記載しております。

仕入におきましては、全ての区分において仕入が大幅に増加し、仕入高は前年同期比で増加いたしました。

建築事業

建築事業の売上高は923百万円（前年同期比26.7%増）となり、セグメント損失は0百万円（前年同期は73百万円のセグメント損失）となりました。

当第2四半期連結累計期間における販売実績及び受注実績は次のとおりであります。

販売実績

件数	前年同期比(%)	売上高(百万円)	前年同期比(%)
89	+21.9	923	+26.7

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間取引については相殺消去しております。
3. 「件数」については、受注契約の件数を記載しております。
4. 「件数」・「売上高」につきましては、リフォーム工事・改築工事等の件数・金額を含んでおりません。

販売におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による、商談の遅延や一部契約の見合わせが発生したことにより、計画をわずかに下回ったものの、売上高は前年同期比で大幅に増加いたしました。

受注実績

受注高(百万円)	前年同期比(%)	受注残高(百万円)	前年同期比(%)
548	59.8	649	48.3

- (注) 1. 上記金額には消費税等は含まれておりません。
2. セグメント間取引については相殺消去しております。
3. 上記の金額は、販売価額により表示しております。

受注におきましては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、商談の遅延や一部契約の見合わせが発生いたしました。また、前年同期は消費増税前の駆け込み需要により、受注高、受注残高ともに例年に比べ高い水準にあったため、前年同期比で受注高、受注残高ともに大幅に減少いたしました。

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は、前連結会計年度末と比べ2,703百万円増加し、20,798百万円となりました。これは、主に現金及び預金の減少651百万円、販売用不動産の増加3,429百万円によるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は、前連結会計年度末と比べ35百万円減少し、1,163百万円となりました。これは、主に有形固定資産の減少7百万円、無形固定資産の減少11百万円、投資その他の資産の減少15百万円によるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は、前連結会計年度末と比べ1,280百万円減少し、7,767百万円となりました。これは、主に短期借入金の減少657百万円、未払法人税等の減少239百万円、流動負債その他の減少275百万円によるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は、前連結会計年度末と比べ3,952百万円増加し、4,303百万円となりました。これは、主に長期借入金の増加3,958百万円によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ3百万円減少し、9,891百万円となりました。これは、主に資本金の増加4百万円、資本剰余金の増加4百万円、利益剰余金の減少12百万円によるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ671百万円減少し、3,287百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、使用した資金は3,683百万円(前年同期比3,397百万円増)となりました。

収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益291百万円、その他の資産の減少額135百万円であり、支出の主な内訳は、たな卸資産の増加額3,415百万円、法人税等の支払額338百万円、その他の負債の減少額199百万円、仕入債務の減少額106百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は9百万円(前年同期比18百万円減)となりました。

収入の主な内訳は、定期預金の払戻による収入26百万円であり、支出の主な内訳は、定期預金の預入による支出29百万円、有形固定資産の取得による支出2百万円、無形固定資産の取得による支出2百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、得られた資金は3,021百万円(前年同期は446百万円の支出)となりました。

収入の主な内訳は、長期借入れによる収入4,058百万円であり、支出の主な内訳は、短期借入金の減少額657百万円、配当金の支払額194百万円、長期借入金の返済による支出192百万円であります。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年8月12日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,468,300	8,468,300	東京証券取引所 (市場第一部)	完全議決権株式であり、 権利関係に何ら限定のない 当社の標準となる株式 であります。 なお、単元株式数は100 株であります。
計	8,468,300	8,468,300		

(注) 1. 「提出日現在発行数」欄には、2020年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の権利行使により発行された株式数は、含まれておりません。

2. 提出日現在の発行済株式のうち、133,800株は、現物出資(金銭報酬債権99,547千円)によるものであります。

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年4月1日～ 2020年6月30日	-	8,468,300	-	818,435	-	779,435

(5) 【大株主の状況】

2020年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式 (自己株式を除く。)の総数に 対する所有株式 数の割合(%)
松崎 隆司	東京都江東区	1,308,030	15.50
松浦 正二	東京都小平市	468,900	5.56
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	451,400	5.35
小澤 順子	茨城県守谷市	353,000	4.18
サンセイ従業員持株会	東京都千代田区丸の内二丁目5番1号	177,308	2.10
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社(信託口)	東京都港区浜松町二丁目11番3号	162,400	1.92
菊池 由佳	茨城県守谷市	159,750	1.89
小澤 勇介	千葉県柏市	159,750	1.89
小澤 謙伍	茨城県守谷市	159,750	1.89
日本トラスティ・サービス信託 銀行株式会社(信託口5)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	118,400	1.40
計	-	3,518,688	41.70

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 29,900		
完全議決権株式(その他)	普通株式 8,432,700	84,327	完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない当社の標準となる株式であります。なお、単元株式数は100株であります。
単元未満株式	普通株式 5,700		1単元(100株)に満たない株式
発行済株式総数	8,468,300		
総株主の議決権		84,327	

(注)「単元未満株式」欄の普通株式数には、当社所有の自己株式42株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社サンセイラ ディック	東京都千代田区丸の内二 丁目5番1号	29,900	-	29,900	0.35
計		29,900	-	29,900	0.35

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(2007年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,133,719	3,482,343
売掛金	114,808	174,857
販売用不動産	13,493,704	16,923,207
未成工事支出金	53,205	39,238
貯蔵品	3,255	3,336
その他	322,889	197,870
貸倒引当金	26,894	22,369
流動資産合計	18,094,687	20,798,483
固定資産		
有形固定資産		
賃貸不動産	435,079	437,274
減価償却累計額	80,301	84,037
賃貸不動産(純額)	354,777	353,236
その他	101,630	95,365
有形固定資産合計	456,408	448,602
無形固定資産	73,772	62,109
投資その他の資産		
その他	710,006	694,119
貸倒引当金	41,121	41,121
投資その他の資産合計	668,885	652,997
固定資産合計	1,199,065	1,163,709
資産合計	19,293,753	21,962,193
負債の部		
流動負債		
買掛金	598,271	491,533
短期借入金	7,010,050	6,352,182
未払法人税等	363,658	124,122
その他	1,075,513	799,579
流動負債合計	9,047,493	7,767,416
固定負債		
長期借入金		3,958,400
その他	351,313	345,008
固定負債合計	351,313	4,303,408
負債合計	9,398,806	12,070,825
純資産の部		
株主資本		
資本金	814,067	818,435
資本剰余金	775,067	779,435
利益剰余金	8,301,620	8,289,485
自己株式	152	152
株主資本合計	9,890,602	9,887,204
新株予約権	4,344	4,164
純資産合計	9,894,946	9,891,368
負債純資産合計	19,293,753	21,962,193

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
売上高	7,701,292	8,354,494
売上原価	5,360,245	6,423,081
売上総利益	2,341,046	1,931,413
販売費及び一般管理費	1,550,622	1,535,909
営業利益	790,423	395,504
営業外収益		
受取利息	100	85
受取配当金	52	52
違約金収入	23,000	
業務受託料	3,626	6,702
貸倒引当金戻入額		4,875
その他	5,565	3,085
営業外収益合計	32,343	14,801
営業外費用		
支払利息	51,011	70,134
支払手数料	2,433	28,805
その他	18,806	19,720
営業外費用合計	72,250	118,661
経常利益	750,516	291,644
税金等調整前四半期純利益	750,516	291,644
法人税等	277,092	109,289
四半期純利益	473,423	182,354
親会社株主に帰属する四半期純利益	473,423	182,354

【四半期連結包括利益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益	473,423	182,354
その他の包括利益		
その他の包括利益合計		
四半期包括利益	473,423	182,354
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	473,423	182,354
非支配株主に係る四半期包括利益		

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	750,516	291,644
減価償却費	25,290	24,217
受取利息及び受取配当金	152	137
支払利息	51,011	70,134
営業外支払手数料	2,433	28,805
貸倒引当金の増減額(は減少)	1,329	4,524
売上債権の増減額(は増加)	30,010	60,048
たな卸資産の増減額(は増加)	666,577	3,415,618
仕入債務の増減額(は減少)	45,606	106,737
その他の資産の増減額(は増加)	79,905	135,161
その他の負債の増減額(は減少)	17,293	199,996
その他	1,361	34
小計	10,262	3,237,134
利息及び配当金の受取額	153	144
利息の支払額	50,710	79,944
営業外支払手数料の支払額	2,433	28,805
法人税等の支払額	223,266	338,253
法人税等の還付額	1	1
営業活動によるキャッシュ・フロー	286,517	3,683,992
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	30,805	29,606
定期預金の払戻による収入	17,600	26,000
有形固定資産の取得による支出	21,010	2,533
有形固定資産の売却による収入	161	136
無形固定資産の取得による支出	11,652	2,273
差入保証金の差入による支出	40	1,006
差入保証金の回収による収入	17,841	18
その他		45
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,906	9,309
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	770,631	657,868
長期借入れによる収入	142,500	4,058,400
長期借入金の返済による支出	1,182,920	192,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入		8,556
配当金の支払額	176,514	194,668
財務活動によるキャッシュ・フロー	446,302	3,021,919
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	760,727	671,383
現金及び現金同等物の期首残高	3,465,424	3,958,686
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,704,697	3,287,303

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日)
税金費用の計算方法	税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 1月 1日 至 2019年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日)
給与手当	419,587千円	421,597千円
退職給付費用	4,511千円	5,295千円
貸倒引当金繰入額	155千円	350千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 1月 1日 至 2019年 6月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 1月 1日 至 2020年 6月30日)
現金及び預金	2,844,730千円	3,482,343千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	140,032千円	195,039千円
現金及び現金同等物	2,704,697千円	3,287,303千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年3月27日 定時株主総会	普通株式	177,398	21.00	2018年12月31日	2019年3月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年3月26日 定時株主総会	普通株式	194,489	23.00	2019年12月31日	2020年3月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,972,178	729,114	7,701,292	-	7,701,292
セグメント間の内部売上高 又は振替高	-	12,252	12,252	12,252	-
計	6,972,178	741,367	7,713,545	12,252	7,701,292
セグメント利益又は損失()	1,360,779	73,382	1,287,396	496,973	790,423

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失()の調整額 496,973千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用
であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	不動産販売 事業	建築事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,431,059	923,435	8,354,494	-	8,354,494
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,040	34,682	35,722	35,722	-
計	7,432,100	958,117	8,390,217	35,722	8,354,494
セグメント利益又は損失()	953,571	424	953,147	557,642	395,504

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

(1) 売上高の調整額は、セグメント間の内部取引消去であります。

(2) セグメント利益又は損失()の調整額 557,642千円は主に各報告セグメントに配賦していない全社費用
であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	56円04銭	21円58銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円)	473,423	182,354
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円)	473,423	182,354
普通株式の期中平均株式数(株)	8,447,558	8,449,207
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	55円94銭	21円52銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	15,084	24,755
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月12日

株式会社サンセイランディック
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	村	松	啓	輔	印
指定有限責任社員 業務執行社員	公認会計士	寺	澤	直	子	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社サンセイランディックの2020年1月1日から2020年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(2020年1月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社サンセイランディック及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。